

会 議 録

会議の名称	第5回白岡市地域公共交通市民検討会議
開催日	平成25年1月22日(火)
開催時間	午後4時～5時30分
開催場所	白岡市役所庁舎4階会議室402
会長の氏名	佐々木操
出席者(出席委員)の氏名・出席者数	嶋田功次委員、磯部春代委員、堀富夫委員、渡邊剛委員、佐々木操委員、長谷川博委員、村尾齋一郎委員、市村春樹委員、吉川すみ子委員、角田由美子委員、森木清次委員、新井文雄委員、明野真久委員、細井将司委員、尾崎晴男委員
欠席者(欠席委員)の氏名・欠席者数	
説明員の職・氏名	企画調整課齋藤課長補佐 企画調整課内田主査
事務局職員の職・氏名	総合政策部田辺部長、企画調整課野口課長、齋藤課長補佐、内田主査
その他会議出席者の職・氏名	秋葉清一郎副市長
会議次第	1 開会 2 挨拶 3 会議事項 (1) 公共交通サービスの運行イメージについて (2) 受益者負担及び公費負担の在り方について (3) 答申書(案)について (4) その他 4 閉会
配布資料	会議次第 資料1 当市におけるデマンド交通導入の検討に当たって 資料2 当市におけるデマンド交通導入のシミュレーション 資料3 デマンド交通の収支状況と行政負担について 追加資料 地域公共交通に係る答申書(会長試案)

議 事 の 経 過	
発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
田辺総合政策部長	<b>1 開会</b> 田辺総合政策部長の司会進行により会議が開会した。
佐々木会長	<b>2 挨拶</b> 佐々木会長から挨拶が行われた。
事務局	<b>3 会議事項</b> <b>(1) 公共交通サービスの運行イメージについて</b> 事務局から資料の確認、資料1、2についての説明が行われた。
佐々木会長	事務局から、運行区域、運行車両、運賃、運行主体について説明があった。ただ今の説明について、意見をいただく前に、A委員より専門的見地からの補足または解説等をお願いしたい。
A委員	これまで4回の会議を行い、循環バスの運行経験等からデマンド型が一つの候補だという流れになった。 今回、デマンド型に対応する公共交通をどうするかということで、詳細の資料が提示されたが、恐らく皆さんも難しいと感じたと思う。 実際にデマンド交通を採用しているところは数多くある。 これから議論していただくが、どう工夫していくのか、あるいはデマンド型にもメリット・デメリットがあるため、この検討会議では、あまり細かい事まで議論はできないかもしれないが、どういった方向で進めていくのかを議論できれば良いと思う。
佐々木会長	事務局の説明と、A委員からの補足をいただいた。では、資料1の論点の中で、まずは(1)運行区域について意見をいただ

<p>B 委員</p>	<p>きたい。</p> <p>皆さんがどういった運行イメージを持っているのか確認したい。デマンドの運行は1時間に1本など、時間毎に区切るのか、北本市のようにフリーにするのか。</p> <p>久喜総合病院、蓮田病院などの市外を考えると、例えば太田新井の人が久喜総合病院へ行くとすると、往復で1時間かかってしまう。そうするとほかの予約はとれないことになる。1時間ごとに運行すれば、まとめて総合病院まで行ける可能性もあるが、市外へ行った車に関しては、その人一人しか使えない状況になると考えられる。</p> <p>多くの人が使いたいということならば、市内のみの運行にして、市外へはどこかに接続してもらうことが考えられる。遠くへ行けば行くほど、使える人が減るのではないか。</p> <p>ただ、目的地まで行けるのは便利である。どちらを取るのかによって、車両や、一人乗車が多ければ経費のかかり方、予約の取りやすさも変わってくるので、整理が必要である。</p>
<p>佐々木会長</p>	<p>B委員から、専門的な立場からの説明をいただいた。できるだけ多くの方に利用していただくのが主旨だと思っている。</p>
<p>C 委員</p>	<p>市内あるいは市外を含めるかということだが、これまで意見してきたとおり、これも利用者のニーズによると思う。</p> <p>あまり利用者が少なければ市外へ行っても大丈夫だが、多いと機能しなくなってしまう可能性がある。そのため、利用者のニーズをとらえることが基本だと考えている。</p> <p>もう1点、資料1では、年間の利用者数を1万2千人と仮定しているが、単純に考えて多めに見積もっていないか。北本市の人口は約7万人（69,225人）に対して、白岡市は約5万人であるため、人口比で考えると、利用者数は8千人くらいになるのではないか。</p> <p>また、社会福祉協議会の車の利用が少ないことを見ると、障害者等とその介助者の利用は少ないのではないかと思われる。実際にはどれくらいの利用があるか、調査をしないと決めにくいと思う。公費の負担も増えると考えられる。</p>

<p>田辺総合政策部長</p>	<p>今回の資料については、条件を限定して作成した。利用者が北本市よりも減るだろうという意見については、なんとも確信できないが、条件が違うため、人口比だけで比較できるとは言い難いと思う。</p> <p>想定については北本市の利用者数をそのまま持ってきたのではなく、北本市でのセダンタイプ1台の乗車人数から、同程度の運行は可能だと考えた。北本市は白岡市よりも公共交通が発達している。公共交通網が不十分な白岡市は、走り出せば需要を掘り起こせる可能性もある。</p> <p>また、収支率も見たところ、北本市では300円の運賃で約20%であった。白岡市での想定は19%と出ており、それほど甘く見積もった数字ではない。</p> <p>しかし、B委員からもあったとおり、予約の仕方でも変わってくる。北本市は1時間前までだが、前日までの市町村もある。様々な条件が考えられる中で、どこまで考えるか。1時間後に蓮田病院まで行きたいという需要に応えられるかどうか。かといって前日までにすると、固定客しかつかない場合も考えられる。</p> <p>どのような需要があるのかは、C委員のおっしゃる通りニーズ調査が必要だが、正確に取ろうとすると、全市民のパーソナルトリップ調査などが必要となるため、それも現実的ではない。他市町村の例などを参考に、このようなことが考えられるのではないかということで、挙げさせていただいている。</p> <p>それも踏まえて、白岡市に合ったやり方を見出していただければと思っている。</p>
<p>C委員</p>	<p>対象者は交通弱者だけなので、サンプリングすればニーズの調査は可能だと考える。民生委員の方に協力していただくことも考えられる。想像で利用者数を出しても意味がない。</p>
<p>田辺総合政策部長</p>	<p>時間があれば行いたいと思う。高齢者の方に関しては、今年度にアンケートを行ったため、ある程度のニーズは把握している。無料のタクシー券を配るとなると、多くの人が手を上げると思うが、500円で駅までしか行かないとか、運行する時間帯が決まっているなど、具体的な条件が加わった上で調査を</p>

B 委員	<p>しないと正確な値は出てこないため、お金をかけて調査をしても本当に役立つデータが得られるかどうかは確信が持てない。他自治体の事例を参考に想定しながら、まずやってみることが良いのではないかと考えている。</p> <p>予行運行の予定はあるのか。</p>
田辺総合政策部長	<p>現在、市の一定の方向性を決めるための意見をいただく場としてこの会議を開催している。今年度中に答申をいただいて、市でデマンド交通を運行しようということになれば、来年正式な法定会議を立ち上げ、再来年の運行開始に向けた協議を行う。</p> <p>その中で、具体的な需要予測や、予約の方法などを細かく協議した上で、3か月もしくは半年の実証実験に入り、その後、正式運行に入りたいと考えている。最初はセダン型2台での運行から始めたいと考えている。</p>
佐々木会長	<p>なかなか始めてみないと難しいとは思いますが、ここでは運行区域について、もう少しつめていきたい。市内のみにするのか、市外の主要な病院も含めるのか、意見をいただきたい。</p>
D 委員	<p>以前の会議で説明のあった、アンケート調査の結果では、通院での移動は市内が61.7%、買い物でも市内が71.3%となっていたため、市内に限定しても6～7割の移動をカバーできるのではないかと。</p>
B 委員	<p>ちなみに久喜市では、旧久喜市内に関してはコミュニティバスが走っているが、旧菖蒲町、旧鷲宮町、旧栗橋町ではそれぞれ区域内でデマンド交通を運行することとなった。</p> <p>例えば、旧菖蒲町から旧久喜市内には直接行けないようになっている。もし、それを可能にしてしまうと、仮に菖蒲から栗橋へ行く場合、1時間では帰ってこられないため、次の予約に対応できなくなる恐れがある。できるだけ接続時間が短くなるよう検討することを前提に、区域内で運行する方向で進んでいる。</p>

E 委員	<p>菖蒲から栗橋へ行く際には、どこか区域内で降りて、別の便へ接続することになるのか。</p>
B 委員	<p>バス路線の延伸などを含め、考えられている。</p>
佐々木会長	<p>実際に運行してみて検討する意見も出たが、どうか。</p>
F 委員	<p>2台で運行するという事なので、時間を考えると市内が良いと思う。</p>
C 委員	<p>コストの面なども考えると、市内で始めて、ニーズを見て必要があれば拡大していくのが良いのではないか。</p>
G 委員	<p>私も、市内から始めて、ニーズを見ながら検討していくのが良いと思う。</p>
田辺総合政策部長	<p>2台で運行というのも、あくまで例として提示しているため、今後議論していただくことが可能である。最低限の条件で始めた方が良く考え、セダン2台を想定した。</p>
H 委員	<p>車を停めておく場所はどこになるのか。</p>
田辺総合政策部長	<p>委託業者に車両を預けて管理していただくことを想定している。2台で臨機応変に対応していただくか、東西に区域を分割して待機する方法も考えられる。</p>
B 委員	<p>おそらく2台を臨機応変に運行するのが良いと思う。</p> <p>今回、白岡市が想定しているシステムは北本市と同様の東大で作ったシステムであり、あれはどこからどこまで何時に、と入れると表が出て、経路が出るシステムらしいので、東西で分けると効率は悪くなると思う。システムを入れなくて安くやるのなら、東西で分けた方が線路の関係で良いと思う。そこでシステムの予算を取れるのなら東西は気にしないで、システムの効率で気にされた方が良い。</p>

田辺総合政策部長	<p>B委員からご指摘があったとおりで、事務局の想定では、北本と同様の、呼べばどこへでも行くというようなシステムが便利だと考え、お金は掛かるものの高いもので組んでいる。実際に資料3に載せた収支が高い市町村の例を見ると、区域を決めてその中を回るというやり方もあり、その場合にはエリア内からは出られない不便はあるが、収支的には良くなるというケースもある。</p>
C委員	<p>現在のタクシー会社のシステムは手作業でやっているのか。</p>
B委員	<p>タクシー会社のシステムは、電話が来ると、お客様のところへ無線で一番近い車を行かせるというシステムであるが、今回入れようとするシステムは複数の予約から最適な経路を出さなければならない。</p> <p>例えば、C委員さんは中央病院へ行って、I委員さんが東武ストアに行きたいとなれば、その2人をうまく拾って2つの所へ行くという計算をしてくれるシステムとなる。</p> <p>予約が3、4件になると、おそらく1時間前では人間の頭で経路をつくるのは無理なので、そのためにシステムを入れるという風に理解している。</p> <p>一人一人ならタクシーのシステムで対応できるが、それではデマンドではなくなってしまつて経費は莫大なものになると思う。</p>
C委員	<p>調査した資料だが、デマンドでも簡単なオペレーターが手作業でやっているようなところはかなり安く上がっている。予約の期限が早いのもかもしれないが。</p>
B委員	<p>あとはどのような予約の仕方とルートコースを考えるかによる。交通弱者という中で、100mも歩けない人をフォローするとなるとやはりデマンドのように個々に行かなければならないし、100m以上歩けるという方がある程度多く、何時にどこに到着するというくらいであれば、現在の我々のタクシーのシステムで対応できると思う。個々の家に行ってどこかへ行くというシステムを考えるのなら、このシステムを導入しな</p>

A 委員	<p>いと厳しいと思う。</p> <p>デマンド型にも様々な方法がある。路線型をベースに、そこから少し逸れて拾いに行く形もある。何時にどこからどこまでという形が一番のフルサービスのデマンドかもしれない。どういったデマンド交通を組むのかによって経費も変わるし、利用者の利便性も変わってくる。</p>
C 委員	<p>システムに例えば携帯で即対応できるとか機能を持たせると、やはり赤字幅が大きくなるのか。</p>
A 委員	<p>一番大きいのは人件費だと思われる。車は大きくても小さくても運転手は一人必要であるし、さらにオペレーターがいるとなると、概算を見るとかなりの部分を占めているのがわかる。</p>
佐々木会長	<p>今ここにあげているシステムはかなり充実したものになるのか。</p>
田辺総合政策部長	<p>交通弱者対策ということで、過去の路線バスではない、困った方が本当に使えるものを作ろうという主旨だと理解している。</p> <p>とりあえずは収支がどうかではなく、どれくらいお金が掛かるのかを見ていただく上で一番サービスが高いであろう北本式のデマンドを想定している。</p> <p>先ほども申し上げたのだが資料3に、他市町村の収支の例を出している。</p> <p>例えば、収支率がこの中では非常に高い川西町は収支率42.8%となっているが、同じデマンドでもここではダイヤを一日9便に限定するとか、予約は前日までであるとか、いろいろな制約をつけた上での収支だと思われる。制約をつければ財政負担も減ってくる。</p> <p>そうではなく、戸口から戸口、玄関から駅前までの移動や、時間の希望を出す事になると、やはりそれなりのシステムと人件費の負担が掛かり、収支比率が20%程の数値に落ちてしまうと思われる。</p>



<p>C 委員</p>	<p>料金も含めて、どう運行するのが白岡のベストマッチングとなるかを探していく必要がある。当然、収支を超えた部分の7割～8割は税負担になるので納税者の方の理解を得られる範囲はどの程度なのか探るのが核心の所になるかと思う。</p> <p>もうひとつ事務局の方に質問だが、今出た財政の健全化に向けてはこのくらい出しても大丈夫なのか。</p>
<p>田辺総合政策部長</p>	<p>予算は議会の認定も必要であるため、出せるか出せないかは軽々しく言えない。</p> <p>市長の選挙公約で公共交通を充実させる、交通弱者対策を進めるという事を言っているため、執行部としては、他市町村の先行事例では久喜にしても加須にしても北本にしても財政負担を覚悟の上でやっているの、議会の同意を得られるのであれば、ある程度の負担はやむを得ないと考えている。それがいくらなのかは、皆さまや議会の意見を聞いていかないと分からない。</p> <p>ただ、先ほども申し上げた通り納税者の方からもご理解をいただけるような内容でないといけないと思っている。</p>
<p>C 委員</p>	<p>前回の循環バスでは、1500万円の負担で撤退している。今回はそれより大分掛かるが、その辺はどう理解を得ていこうと考えているのか。</p>
<p>田辺総合政策部長</p>	<p>以前にも話をさせてもらったが、確かに1500万円程度の赤字があったため、循環バスについては廃止させていただいたが、財政状況を考えるとやむを得ない判断だったと理解している。</p> <p>そうした中、更に高齢化が進み、交通弱者の方が今後増えていくという時代情勢の中で、市長も交通弱者対策を何とかすべきだと色々な所で強く感じていて、今回こうした選挙公約になったと理解している。行政が担うべき大きな行政サービスの一つに交通弱者対策があると考えている。</p> <p>前回の失敗を踏まえた上で1500万円以下だったら出すとか出さないとかではなくて真の意味で交通弱者対策になる</p>

<p>佐々木会長</p>	<p>ものであれば、当然納税者の理解も得られて、それなりの財政支出が可能だろうという理解の元でこういった検討を進めさせていただいているところである。1500万円を超えたとしても真の意味で交通弱者の方の役に立って、地域の活性化あるいは地域の住民福祉の向上に役立つものであれば、それは1500万円を超えたからダメだとか良いとかという議論にはならないかと認識している。</p> <p>運行区域について色々ご意見いただいたが、当初は市内から始めるという事をお願いしたい。</p> <p>次に運行車両についてだが、資料1にあるように小型バス、ワンボックス、セダンとあるが、これについてご意見をいただきたい。</p>
<p>I 委員</p>	<p>資料1にある運行車両についてのメリット・デメリットを見ると一番良いのはセダンだと思う。日本には四季があり、この間は雪が降った。骨折をする方がたくさんいる。交通弱者の方たちを停留所が出来たから歩いて来て下さいといっても、なかなか歩いて行かれないという事がある。</p> <p>また、暑い中に弱者の人に停留所まで来て下さいというのは、ちょっとそこまでは無理かなと思う。</p> <p>戸口から戸口という言葉をよく使うが、自宅から病院まで回れるような車で回った方が良いと思う。</p>
<p>佐々木会長</p>	<p>今、セダンが良いのではないかというI委員からのご意見があったが、ワンボックスが良い、あるいは小型バスが良いという方はおられるか。</p>
<p>B 委員</p>	<p>ここはあくまでも答申の場合なので乗車定員11名以下の車両と記載すれば、小型バスは自動的に消えてしまうが、ワンボックス、セダン両方ともOKとなる。そこは幅を持たせても良いと思う。隣の市はそういう答申となった。</p> <p>久喜市ではワンボックス2台という話だったが、ワンボックス2台は逆に勿体ないだろうという事から、今後また議論する事になった。ワンボックスはワンボックスのメリットがあると</p>

	<p>思う。</p> <p>逆にワンボックスにすれば、その一台で多くの方が乗れるので乗れる人数が3人とか4人に減ってしまうよりは良いだろうし、ニーズの問題も出たので決める事はないと思う。小型バス以外のワンボックス、セダンはOKとなる、乗車定員11名以下の車両という言い方でくるとというのが私の意見である。</p>
C委員	<p>11人までなのか。</p>
B委員	<p>乗車定員なので運転手を除くと10名になる。そうすればワンボックスもセダンも両方とも入る。バス以外という意味で、あとは次の会議に委ねれば良いかと思う。</p>
C委員	<p>確かにワンボックス、セダンでは100万円の差であるため、B委員の言う通り、融通の利くようにしておいた方が良いかもしれない。</p>
佐々木会長	<p>他にご意見はあるか。</p>
H委員	<p>今も言われたように両方の案でとりあえずはこの会議は進行するというにしたい。</p>
佐々木会長	<p>B委員から専門的な車両の話があったが、そのような形で行くという事でよろしいか。続いて、運賃についてご意見伺いたい。</p> <p>この収支状況を見ると13市町の収支率がだいたい21～24%くらいになっている。白岡で想定した資料2の想定Iの運賃が500円と300円で19.2%となり、この13市町の平均に近くなる。それを200円とか300円にすると10%を切ってしまう。その辺についてご意見を伺いたい。</p>
B委員	<p>収支率の話は非常に難しく、いくらで理解してくれるかというのは、それは一般の方もあつし、議会もあつし、市長もあつるので、そこからの論点でいくと難しいと思う。</p> <p>実際デマンドのサービスはどのくらいの金額なら利用して</p>

<p>佐々木会長</p>	<p>もらえるのかという論点の方が進めやすいと思う。近隣の久喜と加須は300円で運行している。</p> <p>一般の方は周りの市町村と比べて高い、安いという話の方が恐らく論点的には早く、何で隣は300円なのに白岡は500円なんだという事にもなりかねないので、最終的には先ほど言った試験運行などあって収支を見ながらという部分、それと議会でその金額が通るかという部分は我々がOKしても議会が通らなければアウトですから、一般的な利用者のある程度金額という考え方をすると300円くらいが一つの目安になるのかと思う。あとは最終的には議会なり市長の方でお金をいくらだせるから最終的にはいくらという方が説得力があるように思う。</p> <p>近隣の市町を考慮した金額がよいのではないかというご意見はごもっともだと思うが、他にあるか。</p>
<p>A委員</p>	<p>いくらとなかなか決めにくいというところもあって、その時に参考にできるものを考えるべきである。</p> <p>その一つはB委員の言うように近隣の市町の状況であるが、それ以外にも考えた方がよいのは、お客さんがいくらだったら乗ってくれるのかである。</p> <p>それから西の方は一部バスが通っているため、その運賃とか、タクシーの代金との比較が考えられる。タクシーのお客さんを奪っては非常に良くないので、新たに今まで使っていない人が乗ってみようとなってこそその交通システムだと思う。そういうお客さんのニーズとかその他の公共交通機関の運賃とか近隣の事例とか色々なものを考慮して決めるのがよいのではないかと思う。</p>
<p>H委員</p>	<p>いま菖蒲仲橋まで行っているバスは白岡駅から篠津まで行った時にいくらぐらいになるのか。</p>
<p>C委員</p>	<p>180円ぐらいである。</p>
<p>H委員</p>	<p>300円くらいでも払えないような金額ではないと思う。</p>

C 委員	タクシーの初乗りはいくらか。
I 委員	710円である。
C 委員	A委員の言うようにやはりバスとかタクシーとか参考にした方が良くと思うので、受益者負担も必要なので、タクシーは一人で乗るけどタクシーよりちょっと安いというの也被考えられる。利用者側も利益を得るため、ある程度の負担もやむを得ないと考えないと、300円では安いかもしれない。
佐々木会長	ある程度の負担も考える必要もあるが、また隣とのバランスもあるため、あまり高くとってもどうかと思う。
C 委員	スーパーの値下げ競争ではないが、10円安ければ乗るというものでもないと思う。交通弱者なら必要があれば利用があると思う。
J 委員	先ほど佐々木会長、B委員、色々ご意見出たが、我々の考えているデマンドは戸口から戸口までと非常に利便性の高い、お客さんとしては玄関から病院の入口までと、役場なら役場の入口までと、ニーズに満足感のある内容だと思う。そうすると価値観を料金の中に入れておいた方がありがたいという気持ちが出てくると思う。特に道路から奥の家の方の人はOKすると思う。アンケート調査の方では若干負担しても良いと出ている。少し高いが、白岡は戸口から戸口からまでですよというのも付加価値として表現できると思う。
田辺総合政策部長	<p>ありがとうございます。少し補足すると、仮置きで今回数字を出しているが、近隣と合わせないとバランスが取れないというご意見も、ある程度負担していただかないと、というご意見もまさにそのとおりだと思っている。</p> <p>ひとつ加えるとするなら、納税者からの目線というのでも必要になってくると思う。タクシーのサービスに近ければ近くなる程、ある程度の料金をお願いしないとバランスが悪くなるし、</p>

	<p>納税者側からの何でそんなに安く税金だけでサービスをするのかという意見も出てくると思うので、その辺は久喜市のサービスがこの程度でこの負担といったのも参考にしながら、当市の最終的なサービスに見合った金額に、なお且つ乗っていただけるような金額にするよう検討していただければと考えている。</p> <p>逆にどんどん福祉目的として安くしろという意見もあると思うのだが、皆さんはそういう意見ではなくて応分負担をもとにというご意見であるという事だと思うので、それを踏まえてまた詳細を詰めさせていただきたい。</p>
佐々木会長	<p>委員の皆さんからはたくさんのご意見をいただいた。皆さんのご意見を答申書に反映したいと思うのでよろしくお願ひしたい。</p>
事務局	<p><b>(3) 答申書（案）について</b></p> <p>事務局から答申書（案）についての説明が行われた。</p>
佐々木会長	<p>事務局から説明されたこの答申書はあくまでも試案である。1ページについてのご意見があればお願ひしたい。</p>
田辺総合政策部長	<p>説明が不足しているところもあるかと思うが、叩き台という形で事務局で用意させていただいた。見ていただき、ご意見を頂いて正式な検討会議としての答申書にまとめていきたいと思っている。次回もこの答申書について検討いただきたいと思うので、今日出来る範囲でご意見を頂き、それを踏まえて、さらに新しい答申書案を作って次回も議論していただこうと考えているので、よろしくお願ひしたい。</p>
C委員	<p>今日渡されて意見と言われても困ってしまう。これを一回熟読してからでないと、意見するのは難しい。</p>
田辺総合政策部長	<p>では、今日は事務局の方で書かせて頂いた要点を簡単にご説明させていただくので、時間の許す限りご意見をいただいて、深い議論は次回ということでお願ひしたい。</p>

事務局	答申書について要点説明。
佐々木会長	事務局から答申書の試案についてご説明があったが、次回の会議でこの内容につきまして、もう一度ご議論いただくのでひとつよろしくお願ひしたい。
B 委員	流れが分からないので教えていただきたいのだが、この答申を市長にさせていただき、これをもとに議会などに話をして公共交通会議を作るといふ流れかと思ふのだが、例えば今回ここで話し合つたデマンド交通が良いのではないかと、そういったことが全く載つてないのだが、今度行ふ公共交通会議において、その案、例えば先ほどの車両とか、具体的な部分といふのはどういふ処理の仕方になるのか。
田辺総合政策部長	<p>議論の終わつていないところは載せておらず、事務局の方も最初の方だけ見ていただこうといふ趣旨でお出ししたようなので大変失礼があつたと思ふのだが、今まで数回にわたつて議論していただいた事の骨子は全て入れ込みたいと思ふので、白岡にはデマンドが合つていないのか、あるいは応分の利用を求めた上でニーズを探りながら最小の負担でやつていくべきではないか、そういったご議論は反映させていただきたいと思つている。</p> <p>今日議論が終つた後、書き込んだものを改めて作成し、次の議会までには読み込んで頂けるようにお送りしたいと思ふ。</p> <p>また、その中でもっとこれを書いた方がよいとか、視点が違ふとかのご指摘を頂ければと思ふ。これからの流れだが、次回ご議論いただいて答申を固めて頂いた後、市長へ答申をしていただいて、市としてはその答申を受けて、来年度の予算編成で法定会議の立ち上げなりを議会の方にも承認いただいて、来年度には法定会議を立ち上げて、速やかな公共交通の実現を目指して、再来年度くらいを目標に来年度以降、法定会議で議論を深めていくといふようなスケジュールを考えている。</p>
J 委員	B 委員からあつた意見について、次回は文章にして出していただきたい。

田辺総合政策部長	<p>早急にまとめてなるべく早い時期にお送りして次回に議論が出来るようにさせていただきたいと思う。</p>
J 委員	<p>事務局から説明いただいた件だが、少し気になる点がある。まず「はじめに」という事で1行目の“高齢者等”という言葉を使っていて、4ページでは対象者のところで“高齢者や駅”というところが曖昧になっていますのでここにも“等”を入れていただいた方がはじめからの文章が繋がっていくのではないかと思います。</p> <p>それからもう一つ、持続可能などいう事を何回も表現しているが、2ページで過去の失敗をあえて最後の行で載せる必要はないと思う。もっと前向きな文章で良いと思う。</p>
佐々木会長	<p>それでは新しい答申書をもとに次回またご議論いただくということでよろしいお願いしたい。</p>
事務局	<p><b>(4) その他</b> 事務局から次回会議の日程について連絡した。</p>
佐々木会長	<p>これで本日の議題はすべて終了した。</p>
田辺総合政策部長	<p><b>4 閉会</b> 田辺総合政策部長から挨拶が行われた。</p>
<p>議事のでん末・概要を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。</p> <p>平成 年 月 日</p>	